

自己資本の構成に関する開示事項  
2024年9月末

【ひろぎんホールディングス・連結】

(百万円、%)

項目	2024年9月末	2023年9月末	
<b>コア資本に係る基礎項目 (1)</b>			
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	482,614	467,794	
うち、資本金及び資本剰余金の額	82,209	85,209	
うち、利益剰余金の額	413,313	394,549	
うち、自己株式の額(△)	5,698	6,387	
うち、社外流出予定額(△)	7,210	5,577	
うち、上記以外に該当するものの額	-	-	
コア資本に算入されるその他の包括利益累計額	4,274	9,649	
うち、為替換算調整勘定	△ 1	-	
うち、退職給付に係るもの額	4,275	9,649	
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株式引受権及び新株予約権の合計額	126	126	
コア資本に係る調整後非支配株主持分の額	-	-	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	8,781	6,095	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	346	367	
うち、適格引当金コア資本算入額	8,434	5,727	
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-	
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-	
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、	-	-	
コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-	
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、	-	1,808	
コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	22	
コア資本に係る基礎項目の額	(イ)	495,797	485,497
<b>コア資本に係る調整項目 (2)</b>			
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものと除く。)の額の合計額	10,238	8,664	
うち、のれんに係るもの(のれん相当差額を含む。)の額	216	356	
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	10,022	8,308	
繰延税金資産(一時差異に係るものと除く。)の額	176	5	
適格引当金不足額	-	-	
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	-	-	
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	-	-	
退職給付に係る資産の額	36,836	53,319	
自己保有普通株式等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	24	20	
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	-	-	
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	-	-	
特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-	
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	-	-	
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-	
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-	
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	-	-	
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-	
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	
コア資本に係る調整項目の額	(ロ)	47,276	62,010
<b>自己資本</b>			
自己資本の額((イ) - (ロ))	(ハ)	448,521	423,487
<b>リスク・アセット等 (3)</b>			
信用リスク・アセットの額の合計額	3,871,657	3,657,355	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	-	7,149	
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	-	-	
うち、上記以外に該当するものの額	-	7,149	
マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	-	-	
オペレーション・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	118,267	113,915	
プロア調整額	-	-	
リスク・アセット等の額の合計額	(二)	3,989,924	3,771,270
<b>連結自己資本比率</b>			
連結自己資本比率((ハ)/(二))		11.24	11.22

## 【広島銀行・連結】

(百万円、%)

項目	2024年9月末	2023年9月末
<b>コア資本に係る基礎項目 (1)</b>		
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	446,442	436,495
うち、資本金及び資本剰余金の額	85,208	85,208
うち、利益剰余金の額	361,234	351,286
うち、自己株式の額(△)	-	-
うち、社外流出予定額(△)	-	-
うち、上記以外に該当するものの額	-	-
コア資本に算入されるその他の包括利益累計額	4,274	9,649
うち、為替換算調整勘定	△ 1	-
うち、退職給付に係るものの額	4,275	9,649
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株式引受権及び新株予約権の合計額	-	-
コア資本に係る調整後非支配株主持分の額	-	-
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	7,780	3,523
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	44	39
うち、適格引当金コア資本算入額	7,736	3,484
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、	-	-
コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、	-	1,808
コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	13
非支配株主持分のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-
コア資本に係る基礎項目の額	(イ)	458,497
<b>コア資本に係る調整項目 (2)</b>		
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	9,710	8,046
うち、のれんに係るもの(のれん相当差額を含む。)の額	-	-
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	9,710	8,046
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	12	-
適格引当金不足額	-	-
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	-	-
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	-	-
退職給付に係る資産の額	36,836	53,319
自己保有普通株式等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	-	-
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	-	-
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	-	-
特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-
コア資本に係る調整項目の額	(ロ)	46,559
<b>自己資本</b>		
自己資本の額 ((イ) - (ロ))	(ハ)	411,937
<b>リスク・アセット等 (3)</b>		
信用リスク・アセットの額の合計額	3,840,745	3,591,352
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	-	7,149
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	-	-
うち、上記以外に該当するものの額	-	7,149
マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	-	-
オペレーション・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	104,864	100,606
フロア調整額	-	-
リスク・アセット等の額の合計額	(ニ)	3,945,610
<b>連結自己資本比率</b>		
連結自己資本比率((ハ)/(ニ))	10.44	10.56

## 【広島銀行・単体】

(百万円、%)

項目	2024年9月末	2023年9月末	
<b>コア資本に係る基礎項目 (1)</b>			
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	446,292	436,349	
うち、資本金及び資本剰余金の額	85,208	85,208	
うち、利益剰余金の額	361,084	351,140	
うち、自己株式の額(△)	-	-	
うち、社外流出予定額(△)	-	-	
うち、上記以外に該当するものの額	-	-	
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株式引受権及び新株予約権の合計額	-	-	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	7,419	3,541	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	44	39	
うち、適格引当金コア資本算入額	7,375	3,501	
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-	
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-	
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、 コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-	
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、 コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	1,808	
コア資本に係る基礎項目の額	(イ)	453,712	441,699
<b>コア資本に係る調整項目 (2)</b>			
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものと除く。)の額の合計額	9,705	8,038	
うち、のれんに係るものの額	-	-	
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	9,705	8,038	
繰延税金資産(一時差異に係るものと除く。)の額	-	-	
適格引当金不足額	-	-	
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	-	-	
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	-	-	
前払年金費用の額	32,561	43,670	
自己保有普通株式等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	-	-	
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	-	-	
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	-	-	
特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-	
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	-	-	
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-	
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-	
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	-	-	
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-	
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	
コア資本に係る調整項目の額	(ロ)	42,266	51,708
<b>自己資本</b>			
自己資本の額 ((イ) - (ロ))	(ハ)	411,446	389,990
<b>リスク・アセット等 (3)</b>			
信用リスク・アセットの額の合計額	3,848,531	3,602,546	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	-	7,149	
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	-	-	
うち、上記以外に該当するものの額	-	7,149	
マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	-	-	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	103,295	98,662	
プロア調整額	-	-	
リスク・アセット等の額の合計額	(ニ)	3,951,826	3,701,208
<b>自己資本比率</b>			
自己資本比率((ハ) / (ニ))	10.41	10.53	